

平成22年

季刊

春季号

Vol.33

亞東



社団法人亞東親善協会創立六十周年記念訪台団：新竹市庁舎



社団法人亞東親善協会

The East Asian Friendship Association

社団法人 亜東親善協会の概要

名称 社団法人 亜東親善協会

(英文名 The East Asian Friendship Association)

事務所 東京都千代田区平河町二一七―五 砂防会館四階

(必要に応じ支部を設ける)

目的 会員相互の親睦並びに我が国とアジア諸国との

経済、文化の提携、交流を通じ、友好親善の増進を図る。

事業

① 我が国とアジア地域諸国との政治、経済、文化に関する調査研究及び講演会、研究会の開催並びに研究資料の出版

② 我が国とアジア地域諸国との文化、芸術の相互の紹介

③ 我が国とアジア地域諸国との経済協力の推進に必要な情報の収集及び斡旋

④ 我が国に在住するアジア地域諸国民の生活相談

⑤ アジア地域諸国からの在日留学生にたいする進学の斡旋

⑥ その他本会の目的を達成するために必要な事業

亜東親善協会の変遷

社団法人亜東親善協会は、民主主義と自由経済を信条とするアジア人同志の交流を深める目的で、昭和二十四年（一九四九年）東京に設立された『華南倶楽部』が発祥です。

第二次世界大戦後の激動の時代でしたが、会員はひたすらアジアの平和と繁栄を希求し、友愛と信義を基調とした国際関係の樹立に努力を続けて参りました。

その結果、この趣旨に賛同する有識者が次第に増加し、活発な活動とともに組織拡大の一途を辿りましたが、昭和四十七年（一九七二年）の日中共同声明は、アジアの政治情勢のみならず、在日アジア人の日常にも大きな変化をもたらしました。

その前年即ち昭和四十六年（一九七一年）、千葉三郎先生（故人・衆議院議員、労働大臣）は、倶楽部を強化発展させる必要を痛感し、岸信介先生、福田赳夫先生、灘尾弘吉先生らと諮り自ら発起人となり同年五月二十九日『社団法人亜東親善協会』（外務省認可）を設立したのであります。

千葉先生の引退後、原文兵衛先生（故人）が参議院議長の要職のまま会長に就任され、内外の信望を集めました。その後、原先生の意を受け、永年衆議院で活躍された藤尾正行先生（故人）が会長を引き継がれ、幾多の変遷を経て参りました。

現在、日本を始め東アジア諸国は、台湾海峡問題と北朝鮮の核問題という二つの問題があります。この両問題には中国は大きく関わっています。かかる情勢の中で本協会の目的達成事業が発展することは、アジアの繁栄と平和に貢献するものと信じております。平成十三年まさに二十一世紀の幕開けを期して、玉澤徳一郎先生を迎え、さらに陣容を強化し、英知を結集して努力を続けている次第です。

季刊「亜東」平成二十二年 春季号 目次

社団法人亜東親善協会概要・変遷 二頁

目次・社団法人亜東親善協会第三九回通常総会 三頁

政戦略なき国家は滅ぶ 玉澤徳一郎 四頁

資料【日米安全保障条約】抜粋 五頁

新春互礼会 六頁

亜東親善協会創立六十周年記念訪台団報告 八頁

台湾シニアエイジ・大学短期留学制度 一五頁

第二三回日本大学生訪華研修報告 一六頁

西郷（菊次郎）廳憲徳政碑【中文】 一三三頁

西郷（菊次郎）廳憲徳政碑【和文訳】 一四四頁

顧問・役員名簿 一六六頁

お知らせ・編集後記 一七七頁

社団法人亜東親善協会第三九回通常総会

開催日時 平成二十二年五月十三日 木曜日

開催場所 ホテル ルポール麹町 二階

総会 サファイヤ 十六時

第一・二号議案 平成二十二年度事業報告及び収支決算報告承認の件

第三号議案 任期満了に伴う理事長、役員選任の件

第四・五号議案 平成二十二年度事業計画案及び収支予算案承認の件

講演会 サファイヤ 十六時五〇分

挨拶 社団法人亜東親善協会会長 玉澤徳一郎

講師 政治評論家 浅川 博忠 先生

演題 【参議院選挙とその後の政局】

懇親会 ルビー 十八時から十九時半

挨拶 社団法人亜東親善協会会長 玉澤徳一郎

挨拶 台北駐日経済文化代表處代表 馮寄台閣下

政戦略なき国家は滅ぶ

玉澤徳一郎

い重大な問題でなることを認識すべきである。

治家鳩山総理であると云つても過言ではない。

の一体制を全く無視した無責任極まりない感覚、沖縄のもつ戦略上の価値を全く無視した感覚、こんな感覚をもつ総理に日本の守りが託することが出来るか極めて疑問である。

鳩山政権が発足して六ヶ月経

鳩山内閣の迷走ぶりは、戦前

総理は何度も報道されている

こんな感覚をもつ総理に日本の

つが、国民の多数の失望を招いている。「二度やらしてみよう」と

軍部の動きを止められず、明確な政戦略をうちたてられず、日

ところだが日米安保体制を単なる日米関係のあり方におきかえているところにまちがいがあ

守りが託することが出来るか極めて疑問である。

三分の二の多数の議席を確保し、

中戦争から英米との対決、世界

日本は米国に従属しているの

海外からも馬英九總統のよう

「政治とカネ」の問題と日米安保体制

内閣の迷走と歩を一つにしているといえる。

でこれを対等の関係にもつてゆきたい、そのためには、普天間の基地の代替地を県外・国外にもつてゆくと

に「日米安保はアジアの安定の基」であるからもつとしっかり対応して欲しいとの声も上がつてきている。

の要である基地問題をめぐつて迷走また迷走をくりかえしている。

世界の権力斗争の中に、明確な政戦略をたてられず外交（政治戦略）（一撃論）によってより

もつてゆくとという公約を執行することだと思ひこんでいる。

対応して欲しいとの声も上がつてきている。

政治とカネの問題は、国内問題でいずれば、政治倫理を求める国民の世論によって最終決着させられることであろう。

も力一戦争によって国際的孤立を打破しようとした結果、見通しのきかない戦さをするに

それらも首脳同士で話し合えばなんとか話がつくのではという軽上加減で取組んでいることである。

かえる。そのとき学生であった我々は日米安保条約の内容について先輩から教えられてきたのだが、日米同盟といつても日米

国家の命運をなう安全保障に関わることであり、その扱いをめぐつて一国をなう総理の無

冷戦を戦い日本の自由と独立を守り抜いてきた日米安保体制

で日米が普天間問題にとり組んで十五年 名護市の辺野古に

対等の義務を負う攻守同盟ではないこと、つまり米国は日本を守る義務があるが、日本は米国を守る義務はない、日本国内の

定見や思いちがいで左右されることになれば国をも失いかねな

の意義と内容を最もわからない政治

ことができるといふ感覚、外交

米軍が攻撃されたときは共同防

しかし、日米安保の問題は、

すべきであろう。

自民党政権のもとに橋本内閣

だが、日米同盟といつても日米

国家の命運をなう安全保障に関わることであり、その扱いを

冷戦を戦い日本の自由と独立を守り抜いてきた日米安保体制

で日米が普天間問題にとり組んで十五年 名護市の辺野古に

対等の義務を負う攻守同盟ではないこと、つまり米国は日本を守る義務があるが、日本は米国を守る義務はない、日本国内の

めぐつて一国をなう総理の無定見や思いちがいで左右される

の意義と内容を最もわからない政治

ことができるといふ感覚、外交

米軍が攻撃されたときは共同防

ことになれば国をも失いかねな

の意義と内容を最もわからない政治

ことができるといふ感覚、外交

米軍が攻撃されたときは共同防

衛するが、つまり条約は片務性を有していること、それ（片務性）を補うもの（義務）として

日本が負うべきものは、米国に基地を提供することである。

（日米安保条約第一条）

日本の安保条約による義務は基地を提供することにある。

もしその義務を負うことのできない内閣であるならば、同盟は崩壊の危機に立つことは明解であろう。

ソ連の崩壊によって冷戦の終結したヨーロッパと異なり、アジアにおいては、北朝鮮の核と中国の軍拡による軍事的脅威が存在している。

これらの脅威から、日本を守るのには、日米安保体制を再構築してこそ成立つのである、鳩山総理がトラスティミー（信頼してくれ）と言葉で何度云つても、実行がともなわないのでは、虚

言となり不信頼となり、同盟を維持することは到底できないであろう。

アジアの平和のためにも今こそ日本が果たすべき役割の重大さを認識し行動すべきときである。この責務を果せぬなら、鳩山内閣は即刻退陣すべきである。

【資料】 事務局

日米安全保障条約

昭和三十五年六月二十三日、

条約第六号 批准書交換、発効

日本国及びアメリカ合衆国は、両国の間に伝統的に存在する平和及び友好の関係を強化し、並びに民主主義の諸原則、個人の自由及び法の支配を擁護することを希望し、また、両国の間の一層緊密な経済的協力を促進し、並びにそれぞれの国における経済的安定及び福祉の条件を助長

することを希望し、国際連合憲章の目的及び原則に対する信念並びにすべての国民及びすべての政府とともに平和のうちに生きようとする願望を再認識し、

両国が国際連合憲章に定める個別的又は集団的自衛権の固有の権利を有していることを確認し、

両国が極東における国際の平和及び安全の維持に共通の関心を有することを考慮し、相互協力及び安全保障条約を締結することを決意し、よつて、次のとおり協定する。

○第一条：締結国は、国際連合

憲章に定めるところに従い、それぞれが関係することのある国際紛争を平和的手段によつて国際の平和及び安全並びに正義を危うくしないように解決し、並びにそれぞれの国際関係において、武力による威嚇又は武力の行使をいかなる国の領土保全又は政治的独立に対するものも、

また、国際連合の目的と両立しない他のいかなる方法によるものも憤むことを約束する。

締約国は、他の平和愛好国と協同して、国際の平和及び安全を維持する国際連合の任務が一層効果的に遂行されるように国際連合を強化することに努力する。

○第六条：日本国の安全に寄与し、並びに極東における国際の平和及び安全の維持に寄与するため、アメリカ合衆国は、その陸軍、空軍及び海軍が日本国において施設及び区域を使用することを許される。

前記の施設及び区域の使用並びに日本国における合衆国軍隊の地位は、千九百五十二年二月二十八日に東京で署名された日本国とアメリカ合衆国との間の安全保障条約第三条に基づく行政協定（改正を含む）に代わる別個の協定及び合意され他の取極により規律される。（抜粋）

社団法人亜東親善協会

平成二十二年新春互礼會

平成二十二年二月十六日、

於・ホテル ルポール麹町

台北駐日經濟文化代表處代表

馮寄台閣下並びに代表處関係者

(財) 交流協會島中篤理事長

(財) 台湾協會斉藤毅理事長

日本中華聯合總會・劉東光會長

東京華僑總會・朱恭亮會長

東京華僑婦女會・羅王明珠會長

東京国際大学・倉田信靖理事長

弊会顧問国会議員・前国会議員

台湾人留学生等百五十余名出席

盛大に開催されました。

司会・張建國副會長

新年明けましておめでとご御座います。

本年は、第一部恒例の講演會を取りやめ、趣を替へまして新年に相応しい演芸會を企画いたしました。お楽しみ下さい。



噺 古く亭志心ハ

紙切り 林家 楽一

太神楽 越家 和助

マジック 伊藤 夢葉

紙切りは、お客さまのお題を即座に切り抜き、又横顔を切り抜く技は見事な物でした。

太神楽は、お客様を壇上に上げ、傘回しに挑戦させたり、笑いが絶える事無く、楽しく穏やかな一時でありました。



第二部・新年互礼會

司会・張建國副會長

主催者を代表し弊協会会長玉澤徳一郎より挨拶を申し上げます。

社団法人亜東親善協会

玉澤徳一郎會長

昨年十二月、馬英九總統が日本の報道関係者と会見した際に「日米安全保障条約があつてこそ台湾を含む東アジアが安定する」と語つたことに関して、「アジアの安定と平和の要は日米安全保障体制であり、日米が緊密に軍事、經濟の体制を構成し、冷戦を無事生き抜いた」。中国が台湾並びに日本に対してミサイル増強を行っているため、「抑止のためにアメリカが台湾関係法に基づき台湾に武器輸出することを心から歓迎し、支持する」とのべた。

台北駐日経済文化代表處
代表・馮寄台閣下

新年の祝辞を述べられ、続いて馮寄台閣下は過去一年間で台湾と日本は三つの協定を締結した。六月に台日青年ワーキングホリデー査証制度がスタート。十二月一日には、台湾から年間約二十八万人の観光客が訪れる北海道に駐日代表處札幌分處の開設。更にどう十一日に台日双方は東京羽田空港と台北松山空港を結ぶ直行便を今年十月から一日八便就航させることに調印など台日関係に大きな進展が見られた。今年は東京に「台湾文化センター」を開設。更に国立故宮博物院の文物の日本での特別展開催の実現に向けて努力していく意欲を示した。日本の国会において、故宮の文物の返却に関する法律の一刻も早い成立をお願いします。



○国内の美術館が海外から借りている美術品の差し押さえを防ぐための「海外美術品等公開促進法案」。海外の美術館などが所蔵する美術品には、戦争中の混乱などで本来の所有者が不明の作品も多く、展覧会などをきっかけに所有者などが差し押さえを申し立てるケースが見られる。しかし、日本には差し押さえを防ぐ制度がないため、海外の美

術館が貸し出しを渋ることがあり、中国歴代皇帝の文物を集めた故宮博物院も所蔵品の所有権を巡る争いがある中国の差し押さえを警戒している。

法案は、国内の借主の申請に基づき、文部科学相が外務大臣と協議したうえで作品を指定、差し押さえを禁じる仕組み設ける内容。

最後に、馮寄台閣下は来年の互礼會にはもう少し日本語を覚え、上手に挨拶をしますと述べた。

財団法人交流協会

梶中篤理事長

本年一月二十日に交流協会台北事務所に今井正・新駐台代表が着任し、台湾側の暖かい対応があり、新たな日台関係の進展に期待を示した。

橋康太郎副会長の発声で乾杯し、新春祝宴に入った。



張碧華副会長の三本締めで無事お開きとなりました。

創立六十周年記念訪台団

昨夏、台湾南部に甚大な被害を齎した台風八号のため、延期された創立六十周年記念訪台団は、自平成二十二年二月二十六日 至平成二十三年三月一日の日程で催行されました。訪問先・団構成の、最終決定は出発日の前々日になり、参加者に御心配をお掛け致しました。

団長 並木正芳・協会顧問

(前衆議院議員)

団員 男性六名、女性二名。

第一日(二月二十六日 金曜日)

成田空港第二ターミナル

日本航空Nカウンター集合

定刻に全員集合。気温一〇℃

日本航空六四一便にて、桃園

国際空港に到着。気温三〇℃

現地旅行会社 台日旅行社

王民雄副社長、呂鏡潭ガイド

(曆三〇年)の出迎え。



北宜高速道路 台北市を通過、

(一昨年、台北南港から宜蘭蘇

澳まで全長五五kmが開通。

東南アジア第一の長さ一二・

九km「雪山隧道」は、世界第

五位。台北から宜蘭まで従来

の三時間が四〇分に短縮され

た)を利用し台湾東海岸、宜

蘭縣へ。

冬山河親水公園 最初の視察先

西郷憲徳政碑



端午節開催のドラゴンボート大会は、有名であり、日本始め世界中から参加のレガッタレースも開催されている。

西郷憲徳政碑(宜蘭河岸)

昨年、元總統李登輝閣下謁見の際、台湾における治水工事は、烏山頭の八田與一氏が有名ですが、日清戦争後に宜蘭縣庁長になりました、西郷隆

盛公の長子菊次郎公が宜蘭河に大堤防を成し、治水工事が功を奏し、水害が根絶された。

この恩恵に菊次郎公の政治を高く称え、宜蘭の有志が碑を

建立した話をされ、是非協会として訪れてはとの事であり

ました。当日、宜蘭縣史館李英茂先生が碑の解説をされ、

今後、碑の保存管理について、意見交換も致しました。

宜蘭設治紀念館（設治とは官職を派遣して治めること）本建物は一九〇六年頃に縣知事官邸として建られた伝統的日本式木造建築と欧州古典建築様式を融合した和洋折衷建築です。一九九七年再建され対外開放されました。窓視察予定を李先生が五分で良いのでバスを降りて見学をとの事、日本式庭園も整備され、宜蘭縣の歴史の継続、重要性が感じられました。



宜蘭縣庁表敬訪問

宜蘭鋼鐵股份有限公司王信豐董事長、通訳として、日本に留学した王佳琳さんと合流。林聰賢縣長公務の為、吳澤成副縣長が、訪問団を迎えてくれました。宜蘭縣についての紹介、觀光地、また台北より日帰りが出来る地になり、日本よりの觀光客も期待している旨の挨拶がありました。並木団長より表敬訪問の御礼



の挨拶、本日の視察先、西郷廳憲德政碑・宜蘭設治紀念館等、日本と台湾との交流、歴史遺産が保存管理されている等話された。団員より、西郷廳憲德政碑の保存管理、周辺整備に西郷堤に日本の桜を植樹出来ないかとの意見も有りました。副縣長と並木団長とで表敬記念品の交換が成されました。



亞東關係協會主催歡迎晚餐會
亞東關係協會陳調和秘書長
（前代表處橫濱分處處長）
主催の歡迎宴は台北國賓大飯店・山水園で開催された。粘信士副秘書長、張淑玲秘書組長、洪英傑秘書、李蕙珊秘書同席。王佳琳さんも参加。陳調和秘書長より歡迎の言葉。並木正芳団長の謝辞、団員の紹介の後、懇談会に入った。



第二日（二月二十七日 土曜日）

台北駅八時六分発台湾新幹線
台南駅九時五一分定刻着バス
に乗換。奇美博物館本館へ

ガイドのミスにより到着時刻
が遅れ、石榮堯氏（案内人）
博物館入口で出迎え、時間の
都合で早速館内へ。土曜日で
したので多数の参観者があり
ました。館内は撮影禁止です
が、特別に許可を戴きました。



ユニークな博物館・展示品は
多種で、その数も豊富で他の
美術館・博物館とは趣が異な
っています。台湾を代表する
実業家 許文龍氏（奇美集團
創辦人）の「見てわかる絵、
聞いて楽しめる音楽」の普及
をモットーに一九九〇年に開
館した。日本の統治時代の昭
和初期、台南には素晴らしい
歴史博物館があり、許創辦人
は子供の頃、博物館が好きで、
特に動物の標本を見るのが楽
しみであった。しかし博物館
は戦火にあい、所属物も焼失
してしまった。許創辦人は、
釣り、音楽、絵画、読書が好
きであり、四五歳からバイオ
リンの勉強をし、絵も描いた。
大好きであった動物の標本は
世界各地から集め、その幅の
広さと数では亜細亜一ともい
われる。二〇〇〇年には、隣
合せて新館が開館。五階は美

術品、欧州家具等展示され石
榮堯氏によると許氏は、絶対
的に作者の氏名を聞く事無く
皆が解る写実的な絵を集める
という。六階は動物剥製他、
七階は洋画他、八階は大型動
物の剥製他、前庭には彫刻が
展示。日本語の受付もある。



参観後、許文龍氏の待つ董事
長室に案内され、歓迎の言葉
があり、並木団長から謝意を
述べられた。室には社員の方



が居られ、許文龍氏の自慢の
バイオリンでの演奏、女性社
員のコーラス、ギター演奏等
のコンサートを開催された。
収集品の中では、バイオリン
は古来より形が変わること無
く最高の楽器であり、現在も
名器収集を進め、一番大切に
あると話された。許創辦人は、
午餐会を催され滞在時間を大
幅に超過してしまいましたが、
楽しい訪問でした。

蓮池潭（リエンチータン）

亀山と半屏山の間にある淡水湖。バス移動疲れの為、暫し休憩。シーズン中は蓮の花が湖面を美しく飾り、しだれ柳が湖畔を縁取る。廟宇が林立し、北側に中国宮殿様式の「孔子廟」。関羽を祀る「啓明堂」。南には極彩色の龍の口から入って、虎の口から出ると悪行が帳消しになるという「龍虎塔」。「春秋閣」などが建つ高雄有数の観光スポット。



三鳳宮（サンフォンゴン）

南部台湾の道教の聖地とされている。主神は毘沙門天の第三子中壇元帥だが、実は中華民族の始祖「黄帝」、学問の神様「孔子」「釈迦如来」「觀世音菩薩」等、道教、仏教、儒教の神様が一同に祀られている。一九七一年に改装された中国北方宮殿様式で建てられ、鮮やかな色彩や精巧な彫刻が見事な寺院。



夕宴【龍興】海鮮料理

ゲストには昨年協会六〇周年記念式典に参加された高雄市にお住まいの啓昌股份有限公司・顔玉海董事長ご家族。又小松理事の台湾支社の陳麗欣先生も参加され夕宴開始。お酒・つまみの差し入れもあり皆さん日本語を話されるので和気藹々の中、豪華な海鮮料理を堪能する事が出来ました。



当夜は、ランタン祭り開催中。ホテル前・愛河沿、光栄ハーバー周辺に屋台が出ていて、各々散策。港では打上花火が上がり、凄い人出でした。「六合夜市」には台湾各地・海鮮料理等庶民的B級グルメの夜店、衣類・雑貨、ゲーム屋が通り所狭し並ぶ。夜中にも拘わらず子供達も含め沢山の人で賑わっていました。

第三日（二月二十八日 日曜日）

元宵節・ホテル出発七時

今回訪台団の最重要視察地。

日月潭国家風景区・九族文化村

漢民族が移住する前から台湾の地に住んでいた先住民（タオ・アミ・タイヤル・パイワン・サイシャット・ツォウ・サオ・カバラン・ブヌン・プユマ・ルカイ等）に関するテーマパーク。漢民族と同化を続けながら独自の言語や生活様式を護介されている。各民族に伝わる伝統技能の実演や芸能が披露され、伝統グルメ竹筒飯・石板焼肉・粟酒を始め、色々な名物料理が味わえる。

文化村は、桜祭り最終日でしたが、今年は天候が異常で桜が十二月に咲き始め、葉桜状態でした。山頂までのロープウェイは運休。シャトルバスで九族文化村出発駅観山樓へ。



開通したロープウェイはオーストリア製、全長一、八km、約十分で終着駅日月潭に繋がる。途中十六本の支柱がある。七支柱と八支柱との距離は、島内最長七八六mに達し、空から日月潭の風景を俯瞰するには最高の区間でした。八人乗りのゴンドラが八六台、車椅子も乗れる事が出来る。

文武廟（ウエンウーミャオ）

孔子、関羽や岳飛などを祀る北朝様式の廟。台湾中部大地震によって被害を受けたが、ほぼ元の姿を取り戻している。廟の最上部からは湖の全景が見渡せる、日月潭の見所です。



日月潭雲品酒店（昼食）

国家風景管理区で唯一天然温泉（美人の湯）があり、一泊二食四万五千円の超豪華酒店。

眺望素晴らしく、寒煙翠での中式合菜は絶品でありました。



埔里（プリー）

山紫水明の里・紹興酒の里。

気候（Weather）・水質

（Water）・醇酒（Wine）・美

女（Women）の4W、四拍子

揃った山間の楽園。

埔里の清浄で豊かな湧き水は

「愛蘭甘泉水」と称される。

鷹取紙教会

日本から空輸された紙の教会は、桃米村のペーパードーム新故郷見学園にある。五八本の紙の柱を使って建てた教会で、地域再建のシンボルとなっている。

一九五五年の阪神大震災（当時、玉澤徳一郎防衛庁長官）によって野田北部鷹取教会が崩壊した。建築士の坂茂氏と二〇〇人のボランティアの手によって紙の教会（仮設集会所）が建設された。それから一〇年、紙の教会は国境や民族・宗教を越えて、「再建」と「交流」の象徴となっていた。

二〇〇五年台湾被災地（一九九九年の大地震）のメンバーが阪神大震災十周年の行事に参加したときに、野田北部の紙の教会がまもなく撤去されることをしった。そこから両



被災地の交流の架け橋として、紙の教会を台湾に移築する話がありました。

二〇〇八年、紙の教会は海を越えて、埔里鎮桃米生太村に移され、二〇〇八年九月二二日より第二の人生を歩み始めた。実際、紙教会にあたる日差しに心を慰められる人も多く、小さな紙の教会ながら、大きな使命を背負っている。

亜東親善協会主催答礼晩餐会

当協会・呉淑娥理事の会社
寶山高爾夫倶楽部に、亜東関係協会・陳秘書長達をお迎えし、答礼宴、お別れ会を開催。
小松理事が地震後十年経って出来た埔里紹興酒の差し入れで乾杯。並木団長は今回の訪台について謝意を述べられた。
高爾夫倶楽部はナイター設備もあり、レストランは筒料理・新竹ビーフンが有名です。



【和平日念日】 二月二八日

二・二八事件の犠牲者を追悼する記念日になっています。

一九四七年二月二七日に起こった。この発端は、台北市の煙草専売局の闇煙草摘発隊が、本省人が多く住み、日本統治下でも政治的独立意識の高かった迪化街で逃げ遅れた煙草密売商の老婆を殴ったことに始まる。

それまでの各種経済的政策や運営に反発していた本省人は、

この煙草商取り締りに抗議し取り囲んだが、当局の発砲により、一人が死亡した。翌二八日、本省人のデモ隊が専売局に押し掛け、国民党の台湾総督にあたる陳儀長官のいる行政長官公署に向かい、その時、機関銃が発射され多くの死傷者を出した。これに憤慨した本省人は放送局を占拠し、全島に蜂起を呼びかけ、全国的な反乱に発展していった。台湾の接収のために駐屯していた政府軍の力では暴動を鎮圧できず、大陸からの増援部隊の到着を待ち、政府軍は暴動鎮圧したばかりでなく、本省人の武力弾圧を強行し、全島において、二万八千人近い人間が虐殺された。日本教育によって知識・教育・経験を積んだ知的エリート層を根絶する目的を持ったものとも謂われている。

第四日 (三月一日 月曜日)

早朝の市内を車窓より視察。新竹市庁舎へ

前回訪問時、通訳して戴いた龍先生が玄関前に出迎えられ、市長政務室へ案内された。

今年当選を果たしたばかりの許明財市長(国民党)より、歓迎の挨拶。新竹市について、台湾のハイテクの総本山で、日本の企業も進出し、多くの外国人も働いている。観光面



では、余り知られていない。

並木正芳団長は、当協会設立六十周年、日台の友好親善について説明、謝意を述べた。

滋湖陵寝

蒋介石總統遺体仮安置所。国防部による儀仗兵交替儀式を視察後、並木団長による献花



十二時五十分 桃園國際機場着

十四時五十分 日航六四八便で東京へ

一八時四五分 成田國際空港着
着後解散 お疲れ様でした。

辛亥革命(今年は革命百周年)

一九一一年(宣統三年)に中国で発生した革命。清朝を打倒し帝政を廃止し共和制に基づく中華民国を建國した。

国民主権の国家であり、漢滿蒙回藏諸族による国家体制を強調している。名称は干支に由来。双十革命とも称する。

狭義の辛亥革命は一九一一年十月十日夜に発生した武昌起義から一九二二年一月一日に孫文が中華民国初代臨時大總統に就任した期間を示す。(前年一月二九日に臨時大總統選挙が実施され孫文は一七省の代表中一六票を獲得した)

*一九〇五年八月二〇日孫文は東京にて中国同盟会を組織。

(清朝打倒、中華回復、民國建國、地権平等)を定め宣伝活動を行い大衆への啓蒙を通じて革命運動を大衆運動へと拡大した。

【台湾シニアエイジ・大学短期留学生度】

社団法人亜太智慧財産権保護協会(APIP)

50歳以上の世代が台湾の大学で本格的に台湾及び台日間の歴史、中国語、書道等様々なジャンルについて課外授業も含め一週間学び、台湾文化にふれる滞在型公開講座。台湾県淡水の淡江大学(台北・淡水キャンパス)と提携して行われる。

この制度は民間の「亜細亜智慧財産保護股份有限公司」主催です。許水徳氏が董事長の「財団法人亜太文経学術基金会」、「中日文教基金会」「台湾日本研究学会」も顧問団体となっている。

【許水徳董事長】は、高雄市長、台北市長、内政部長、駐日大使、考試院長、亜東関係協会会長などの要職を歴任。特別講師として講演を行う。

基本的には、クラスの定員は15名~20名で、講義は全て日本語(通訳)で行われる。

毎週月曜日が入学式で、同じ週の金曜日の午後に行う卒業式では大学側から正式な短期留学修了証明書が授与される。入学式・卒業式の記念写真、カバン、ノートとユニホームが含まれる。

入学式は毎月2回(第2・第4月曜日)申込は、留学希望の一ヶ月前。一名から申込可。
* (台湾へ申込) 飛行機・ホテル・食事・移動、一人で全て手配出来る方は、直接AIPPに連絡。現地集合。大学費用:NT\$ 50,000は直接支払い。
* (日本旅行社) ①飛行機代金②宿泊代金③送迎費用④食事代金⑤オプション⑥大学費用の合計。AIPPは、APIP事務所内に設立された運営会社。所在地:台北市承德路一段35號7樓之2

E-mail: aippe3@jt.com.tw

台湾淡江大学・シニアエイジ短期留学プログラム

週別	曜日	9:00 - 10:20	10:30 - 12:00	昼食	14:00 - 15:20	15:30 - 17:00	18:00
第1週	日	留学生集合					
	月	大学移動 入学式 (台北キャンパス)	实用中国語 レッスン (台北キャンパス)	昼食	台湾之歴史 林呈蓉教授 (台北キャンパス)	台湾の食生活 (台湾料理の数々) (台北キャンパス)	ホテル 移動
	火	大学移動 淡水の歴史 周宗賢教授 (淡水キャンパス)	課外授業 淡水 紅樹林見学 自然生態観察	昼食	課外授業 淡水見学 日本の居留地、漢民族の居住地域 日本時代の建築物		ホテル 移動
	水	大学移動 頭の体操 岩原勝・張欽梁 (台北キャンパス)	課外授業 ケケラン文化館見学 先住民文化	昼食	課外授業 温泉博物館	課外授業 台湾の温泉体験	ホテル 移動
	木	大学移動 国際的に有名な書道家 書道を学ぶ 張炳煌教授 (台北キャンパス)	課外授業 228公園 日本時代の昔の 栄町の散策	昼食	課外授業 故宮博物院 (故宮見学)		ホテル 移動
	金	大学移動 日台関係セミナー 特別講師 元駐日代表 許水徳先生 (台北キャンパス)		昼食	課外授業 指圧体験授業 中国漢方医学 (台北キャンパス)	卒業式 終了証明書授与 記念撮影 (台北キャンパス)	ホテル 移動

* 昼食は鼎泰豊、貴仔坑、大三元や同じレベルのレストランで食事です。 * 講師と授業内容変更あり。

日本受付
<JTB>短期留学係
* 担当者: 皆川・大塚
TEL: 03-3982-6300
FAX: 03-3982-6352
otsuka.k@jt.jtbasie.com
minagawa.k@jt.jybasia.com

日本受付
<大友旅行社>短期留学係
* 担当者: 柴田・早乙女
TEL: 03-3864-0480
FAX: 03-3864-0504
shibata@ewtb.net
saotome@ewtb.net

台湾受付 (AIPP)
亜細亜智慧財産保護股份有限公司
* 担当者: 壇典子・潘
(日本語可能)
TEL: 882-2-2552-2572
FAX: 886-2-2552-2573
danjonoriko7272@yahoo.co.jp

第三回

日本大学生訪華研修

主催 日本航空

日華青少年交流協会

日本台湾間の航空路線については一九七二年の日中国交回復、日台断交に伴い一九七四年一月に作成された「日台路線の取扱いについて(外務、運輸両省案)」、所謂「日中六原則」の下にJALグループとしては一九七五年より二〇〇八年までの間、日本アジア航空が運航しておりましたが、日台間の航空輸送を専業領域とする日本アジア航空では「日台友好親善促進への協力」を経営の三本柱の一つとして掲げ、営利を離れた文化交流事業に力を注いで参りました。

今回の日本大学生訪華研修はこの文化交流事業のひとつですが、その他に、一九七九年に始まる

台湾大学生訪日研修をはじめとして、台湾大学生を対象する日本語スピーチコンテスト、日本大学生を対象とする中国語スピーチコンテストを両国の次世代を担う青少年の交流促進、相互理解につながればとの想いのもと、小規模ではありますが、今日に至るまで続けてきたところであります。二〇〇八年四月の日本航空と日本アジア航空の合併に伴い、日本航空が本事業を(承継)

三〇年にわたるこれらの事業は、当社の力のみで継続できるものでは到底なく、両国の関係団体の皆様の絶大なご支援・ご協力があつて今日まで継続することができたものと深く感謝しております。紙面をお借りして、厚く御礼申し上げます。

簡単ではありますが、三月に実

施しました日本大学生訪華研修

について、次のとおり、ご紹介させていただきます。なお、今回の研修は、一九八七年の第一回に始まり、今回で二三回を数え、延べ二二三名の日本学生が参加しています。(台湾学生訪日研修は、過去三一回実施・延べ三二〇名参加)

一、主催

日本航空

日華青少年交流協会

二、日程

二〇一〇年三月四日、

三月一日(七泊八日)

三、団構成

団長 篠原芳明

(日本航空台湾交流推進担当役員付部長)

副団長 中川浩昌

(日本航空企画業務部
マネジャー台湾交流推進担当)

団員 男子大学生四名、

女子大学生六名

団員は、中国語スピーチコンテスト東京大会、大阪大会、沖縄大会の優勝者および日華青少年交流協会会員団体等による推薦学生により構成

四、研修趣旨

・台湾学生との小旅行、ホームステイを通じて、台湾の社会・文化・自然等を直接体験することで各分野での理解を深める。

・同世代として、関心のある事項について、台湾学生との意見交換を通じて、相互理解を深める。

五、研修概要

- ① 交流協会、亜東関係協会、中国青年救国団表敬訪問
- ② 台湾大学生および高雄第一科技大学学生との交流会
- ③ ホームステイ
- ④ 台湾学生との三泊四日の南部旅行
- ⑤ 中国語会話講座

六、研修トピックス

出発前日(結団式)

団員一〇名が緊張した面持ちで、初顔合わせ。

各団員推薦団体代表の皆様、当社の台湾交流推進を担当する役員から、激励の言葉を頂くとともに、各団員が研修にあたっての抱負を述べました。結団式の後、研修団一行は成田に移動し、同日夜には、昨

年、訪華研修に参加した先輩学生から体験談を聞く機会が設けられました。



結団式(JALビル)

第一日目(三月四日)

例年、降雨が心配されるこの時期の台湾ですが、日本航空六四一便にて桃園国際空港に到着した研修団を迎えた台北の天候は晴れ、気温も二〇度前後と、最適な環境で研修はスタートしました。

歓迎会

台北での宿泊先である劍潭青年活動センターにて、亜東関係協会鄭文教組長、交流協会馬場文化室長、救国団薛活動処処長を来賓に迎え、大学の先生方、台湾学生も参加する中、歓迎会が開催されました。今回の団員の一〇名のうち、五名はほとんど中国語に接したことのない学生でしたが、歓



迎会前の中国語講座での特訓により、初心者を含め、全員、中国語でのスピーチにトライ

しました。自己紹介冒頭の自分の氏名・大学名・ニックネームの紹介だけではありませんが、四声もはじめての中国語初心者にとっては、緊張した瞬間であったことは間違いありません。その後、歓迎会では、毎年恒例である台湾学生による歓迎演芸披露に続き、日



本学生によるお返し演芸の披露、また、昨年の訪華研修に参加した後、台湾大学に留学することを決定し、一〇月に訪台したばかりの日本人留学生も飛び入りで参加し、団員を激励するなど、質素ながらも暖かい雰囲気での歓迎会となりました。初日の研修日程は、歓迎会をもって終了しました。



が、歓迎会で知り合った学生たちは、解散後、台湾学生のご案内のもと、士林夜市に出かけ、台湾ならではの夜を楽しんだそうです。



**第二日目(三月五日)
公式訪問**

交流協会では、馬場文化室長から文化を切り口に、日本では教わることでできない台湾の姿をわかりやすく説明して

いただくとともに、救国団では周主任から、亜東関係協会では粘副秘書長から、歓迎の言葉をいただき、団員は自分達が日本を代表して台湾を訪れている学生であることを強く感じとったことでした。



亜東関係協会



中国青年救国团



交流協会

台湾大学生との交流

台湾大学生の自主企画により、台湾の若者文化の紹介が行われた後、日台双方の相違についてグループに分かれての意見交換会。意見交換会の後は、中華料理を囲んでの交流会。短い時間ではありましたが、台湾の最高学府である台湾大学生との交流は、勉強・自分



台湾大学生との交流会

の将来に対する台湾学生の熱意は、日本学生への刺激となったようです。なお、台湾大学は、JAL訪日研修で昨年来日した曹団長が所属する大学であり、曹先生の協力を得て実施したものです。

第三日目、四日目

三月六日、七日

観光・ホームステイ



太極拳体験(剣潭活動センター)

太極拳体験、忠烈祠、故宮博

物院見学の後、ホームステイに出發。通常のホームステイと異なり、ホームステイ先は台湾学生のご家庭とし、同世代の台湾学生の生活を体験します。ある団員は、「人を心からもてなす台湾人を見て、日本人が忘れてしまったものが、まだ台湾には残っていることに感銘を受けた」と話していたことが印象的でした。このホームステイを引き受けた台湾学生は、翌日からの南部旅行にも原則参加して、更に交流を深めて行きます。

第五日目、六日目

三月八日、九日

南部旅行へ出發

台湾学生は昨年、訪日研修参加台湾学生、ホームステイ引受け台湾学生と日本学生が一台のバスにて南部旅行。序盤の日月潭、溪頭では雨と寒気の



手作り紙の体験

影響で気温低下が著しく、また、バス車内には暖房装置がついておらず、日本学生は異口同音に「寒い」を連呼していました。台湾学生はダウンジャケットを着ているものもあり、寒さへの備えは万全でした。なお、研修も中盤を過ぎ疲れも溜まってきている時期ではありますが、公式日程である意見交換会だけでは飽き足ら



台湾学生との意見交換会(溪頭青年活動センター)



ずに、日台学生は連日、夜遅くまで、語りあっていたそうです。



烏山頭ダム

第七日目(三月一日)
観光
台南まで来ると気候も安定し、晴れ間がのぞくようになりました。烏山頭ダム、延平郡王祠(台南)を見学

高雄第一科技大学との交流会
訪華研修では、初めて南部の大学を訪問しました。日文系張主任教授からの大学紹介の後、日本語学科の学生から高雄についてスライドを使って紹介を受けるとともに、グループにわかれて意見交換を行いました。台北・日本とは異なる



延平郡王祠(台南)



高雄第1科技大学生との交流会



り、広大なキャンパスを持ち、大学に団員一同驚いていました。

送別会

(高雄 海天下海鮮餐廳)

連日続く円卓を囲んでの中華料理(庶民料理)にややうんざりしていた日本学生でしたが、高雄での送別会では、刺身をはじめ、高雄

ならではの海産物が出され、ホッとしました様子も垣間見られました。翌日の別れを前にして、お互いに写真を撮りあう光景は、まさに一〇年来の友人のようであり、若い世代が寝食をともにし、語り合うことを通じて、相互に理解していく姿には、感動すら覚えたところです。送別会の後、高雄第一科技大学



の学生も市内に駆けつけ、深夜遅くまでカラオケに興じた後、ホテルに戻って朝方まで、この日もいろいろな話をしたそうです。

第八日目(三月一日)

帰国日

研修の疲れ、昨晚の寝不足にもかかわらず、全員、決められた時刻に集合し、高雄空港に向かいました。(例年、最終日は遅刻する学生がいます)バスの中では、団員一人一人に対して、台湾学生から手作りのメッセージカードを配布する光景が見られ、団員は感動したことは想像に難くありません。高雄空港では、永遠の分かれかのように、日台学生ともに、名残を惜しんでいたのが印象的でした。

七、研修の特徴

本研修は、日本学生と台湾学生の直接交流を通じた相互理解促進に最も力点をおいています。具体的には、昨年、訪日研修に参加した台湾学生が

今來台する日本学生をホスト役として迎えします。逆に、日本学生は次回来日する台湾学生の日本でのホスト役となります。ホスト役となる学生は、一部日程に参加するとともに、ホームステイ受入、意見交換会リード(討論内容の決定から会の進行に至るまで)、公式日程外での交流会開催など主体的に研修に参画します。学生の自主性を重視した研修とし、学生自らが考え、行動する機会を与えることにより、真の相互理解を図るとともに、人材育成にも資する研修を目指しています。

日本航空 企画業務部

台湾交流推進担当

第 23 回日本大学生訪華研修日程表		
	時刻	日程
三月四日(木)	10:00 13:00 14:00 15:00 18:30	成田空港出発 (JAL641 便) 台湾桃園国際空港到着 空港出発 中国語会話講座(華亜学園) 歓迎会(劍潭青年活動センター B1) 【宿泊先:劍潭青年活動センター】
三月五日(金)	09:10 09:45 11:45 14:00 15:30 18:00	宿舎出発 交流協会表敬訪問 中国青年救国団表敬訪問 亜東関係協会表敬訪問 台湾大学交流会 台湾大学懇親夕食会 【宿泊先:劍潭青年活動センター】
三月六日(土)	07:00 08:50 09:00 09:50 13:30 14:00	太極拳体験 宿舎出発 忠烈祠見学 故宮博物院見学 宿舎戻り ホームステイ出発 【宿泊先:各ホームステイ先】
三月七日	20:00	ホームステイ 宿舎戻り 【宿泊先:劍潭青年活動センター】
三月八日	08:30 13:30 18:30 20:00	宿舎出発 【南部旅行 1 日目】 九族文化村・日月潭見学 夕食 意見交換会 【宿泊先:日月潭青年活動センター】
三月九日(火)	08:00 09:20 11:20 13:00 15:00 17:00 18:30	宿舎出発 【南部旅行 2 日目】 廣興紙寮見学(手作り紙の体験) 埔里酒廠見学 埔里出発 溪頭自然教育園區 意見交換会 夕食 【宿泊先:溪頭青年活動センター】
三月十日(水)	08:15 10:00 11:00 13:00 14:30 18:30	宿舎出発 【南部旅行 3 日目】 烏山頭ダム見学 烏山頭出発 延平郡王祠(台南) 高雄第一科技大学交流会 送別会(海天下海鮮餐廳) 【宿泊先:華園大飯店】
三月十一日	07:00 08:50 13:00	ホテル出発 高雄空港出発 (JAL658 便にて帰国) 成田空港到着・解散

*3月8日からの南部旅行には、全日程、台湾学生が同行

日本大学生訪華研修実績						
	年度	日程		参加数		
				男	女	計
第1回	1987	1988/3/1~7	(7日間)	5	7	12
第2回	1988	1989/3/3~9	(7日間)	5	5	10
第3回	1989	1990/3/8~14	(7日間)	5	5	10
第4回	1990	1991/3/21~27	(7日間)	9	1	10
第5回	1991	1992/3/19~25	(7日間)	7	3	10
第6回	1992	1993/3/17~24	(8日間)	6	4	10
第7回	1993	1994/3/16~23	(8日間)	6	4	10
第8回	1994	1995/3/15~22	(8日間)	9	3	12
第9回	1995	1996/3/6~13	(8日間)	5	5	10
第10回	1996	1997/3/5~12	(8日間)	6	4	10
第11回	1997	1998/3/5~11	(7日間)	4	6	10
第12回	1998	1999/3/4~10	(7日間)	4	6	10
第13回	1999	2000/3/9~15	(7日間)	4	5	9
第14回	2000	2001/3/8~14	(7日間)	6	5	11
第15回	2001	2002/3/7~13	(7日間)	6	4	10
第16回	2002	2003/3/6~13	(8日間)	6	4	10
第17回	2003	2004/3/4~11	(8日間)	6	4	10
第18回	2004	2005/3/3~10	(8日間)	4	6	10
第19回	2005	2006/3/8~17	(10日間)	4	6	10
第20回	2006	2007/3/8~15	(8日間)	3	7	10
第21回	2007	2008/3/6~13	(8日間)	5	4	9
第22回	2008	2009/3/5~12	(8日間)	4	6	10
第23回	2009	2010/3/4~11	(8日間)	4	6	10
参加学生累計:男 123 名、女 110 名				計 233 名		

西郷廳憲德政碑

昔者漢民攀黃霸之轅齊州留薛公之榻繁邑羣楊君之粟武陵愛樂令之園凡以盛德之人人者深故去思之擊民者切況乃推心置腹感孚於版圖新附之民開誠布公奠安於鋒火粗安之局如我前任宜蘭廳憲西鄉次郎公以德風偃草陰雨膏苗者數公以侯門之末裔作宰官之身歷任重道及其捧檄蘭陽也時則匪正跳梁民不安堵甫試斷輪之手頗傷保艾之心彼萑苻之暴未平而往席之安奚卜特以網開一面固將恩深而服諸頑梗之眾法約三章庸有血氣而昧厥尊親之義喜同歸赤子朱登本慈愛神君慶復觀青天雀譽是太平官府四境昭蕭清之象龐吠無聞百年宏久之規鴻猷聿著興學校以造士茂棧樸也均田賦以課農廣桑麻也闢町畦以表道通輻輳也防泛濫以築堤固金湯也舉凡救弊補偏興利除害莫不敢人之所畏易人之所難者乎至於其廉靜也若公綽之寡欲其安雅也若宓子之鳴琴其燭事也若九齡之金鑑其愛士也若桓武之緇衣且恐舊政多違旁搜遠紹懼輿情莫洽問俗從宜緩斂而蘇困民厚賑而哀癸獨皆本至情至性發為懋德懋功也所以物感情誠於一念患消封豕長蛇民歌樂足於五年祥昭嘉禾瑞麥倘得河東借寇援此牽衣大吏留髡爭為上疏不誠見資深則功德益茂土厚則草木愈榮哉乃公歸田計決使民失哺心孤昔年種樹成陰永留斯土風流之遺愛爾日勒珉誌美洵出吾民月旦之公評紳等分居子姓感切寅衷截鏡有心留鞭無計談到馮異無人不仰花驄望斷細侯何時再迎竹馬漫繡平原之像立香火於萬家好刊叔子之碑傳榮光於千載云爾頌曰

明治三十八年 月

日吉旦

宜蘭廳下紳董商全立

西郷廳憲德政碑

一九〇四年（明治三十八年）に建立されたが、台座は一九二八年（大正十二年十月）建立とある。

宜蘭河の中山橋畔に建てられていたが、国共戦争後、河岸一帯の公用地は大陸から来た軍人家族に占拠された。河岸に沿った道路横に違法建築が建てられ、その際、石碑は台座ごと、その中に包み込まれてしまった。その後数十年経過し、台湾省水利局が宜蘭河沿岸整備のため、不法建築を取り除いたところ、石碑が発見された。不法建築の中に包み込まれていた為、石碑は風雨にも晒されずほぼ完璧な形で残っていた。

現在は、宜蘭河畔・堤の上、橋沿いに設置されている。

わかしとくもつ まつりごと なものそれかんみん ふもんのほ りようかんこうは ひ さいしゅう りかん しょう とど せつこう しの はんち しょうくん
 昔 徳を以て 政 を為す者、其 漢 民の府門に攀りて 良 官 黃 覇を挽き、齊 州の吏官は 牀を留めて 薛 公を偲び 繁地の楊 君
 れん ゆる あわ はこ ぶりよう たみ らくれい その あい およ せいとく みるしん しんめい もの かんしよくさ み しよみん
 は 輩を允して 粟を運ばせ、また 武 陵では 民に 樂令の園を愛さず。凡そ 盛 徳の 民心に 深 銘する者、その 官 職去るを見るや 諸 民の
 しほ せつせつ いわんやひと たい まこと つく はんずしんぶ たみ しんぶく だいかい ひら しよくな しめ ほうかきまよく おの
 思慕また 切 切たるものあり。何 況 人に 對するに 誠を盡し、版圖新附の 民を心 服せしめ、大 懷を開きて 私 欲無きを 示せば 烽 火危 局は自
 ずから 安 定せん。我 前任 宜 蘭 廳 憲 西 郷 菊 次 郎の如き、公の 徳を以て 民を感化するは 実に 滋 雨を與えて 禾 苗を潤おすに 例うべき
 あんてい わがぜんにぎららんちようけんさいごうきくじろう こと こう とくもつ たみ かんか じつ じう あた かびよう うる たど
 かな。西 郷 公は 華 侯の後裔なり、一 地の 行 政 長 官として 要 職を 歴 任し 常に 道に當りて 責を全うせり。而して 蘭 陽に至り
 さいごうこう かこう こうえい いっち ぎさうせいちようかん しょうよく れきにん つね みち あた せき まつと しか らんよう いた
 ちようちよう ふにん ときまさき とうひ ちほう ばつこ なからんいま おさ りようみんひびあん あた も てつわん ふる とき
 廳 長に 赴任するや 時 正に 盜 匪の 地方に 跋 扈する 中 乱未だ 治まらず。良 民 日 日 安ずる 能わざるなり。若し 鉄 腕を 振わば 時にして
 じんみん きず せいかつ た とうひ らんへいてい しよみんいか あんちう う おも こに いた こう じゅうなん さく
 人民を 傷つき、その 生 活を 断たんかも なれども 盜 匪の 乱 平 定せずんば 諸 民如何にして 安 樂を得べきや。思ひ 此に至りて 公は 柔 軟の 策
 と すなわ じんしん あつ おんとく ほどこ がんきさうきようあく しゅう しんぶく ほう さだ じゆんしゅ もつ
 を取り、それは 則ち 仁 心を 篤くして 恩 徳を 施し、頑 強 凶 惡の 衆を 信 服せしめ、また 法を 定めてこれを 遵 守させ、以て
 けつき りんり うと やから そんしん ぎ きさうじ せきししゅどう じうき よろこもの じあい みち ちようかん ぎらん きた しせい
 血 氣には やり 倫 理に 疎 疎に 尊 親の 義を 教 示す。それ 赤 子 朱 登の 同 婦するを 喜ぶ者、慈 愛に 満 ちた 長 官の 宜 蘭に 来りて 施 政を
 ばんみん よろこ いま ぎらん らんこうたい じうじよう こえ き しんえん ひやくねん けい しようけん
 なすは 萬 民の 慶ぶところ。今や 宜 蘭は ようやくにして 乱 寇 平らぎ 擾 攘の 聲を聞かず、深 遠なる 百 年の 計こに 彰 顯せり、
 すなわ かく おこ けんめい し ようせい でんふ ひと わ のうみん うなが のうじ ひろ あせ ぐす みち つく こうつう べんり
 則ち 學を 興し 賢 明の 士を 養 成し、田 賦を 均しく 分けて 農 民を 促し 農 事を 廣 げ、畦を 崩して 道を 造り 交 通を 便 利たらしめ、更には
 ていほう きつ はんらん ふせ ぎらん えいえん すいがい じようち およ へいがい けつしつ ただ えきじ おこ かがい のぞ
 堤 防を 築きて 氾 濫を 防 ぎ、宜 蘭をして 永 遠に 水 害なき 城 池ならしめたり。凡そ 弊 害を なくし、缺 失を 正し、益 事を 興して 禍 害を 除
 いさ たにん おそ こと いた たにん な がた な さいごうこう いた れんけつ あた もつし
 くは、勇んで 他人の 恐れる 事に 挑 み、他人の 爲し 難きを 爲すに あらずや。されば 西 郷 公に至りては、その 廉 潔とおたやかなること 恰かも 孟 子の

無私無欲に似て、その安らぎと幽雅さは宓子賤の無為なる治の如く、理を究めること張九齡が記せる『金鑑録』の如く、また士を愛するは恒武の縞衣が如し。西郷公はまた舊有の施政が民心に逆らわぬを思んばかり、廣く古人の良法を蒐め、大衆の意に合はずんばと風俗を訪れては民情に従う。公は税を徴するに急がず、民生の困乏を助け、厚く孤獨を恤し、これ皆誠懇と真摯を傾注したれば、それ則ち德行と功勳を成就さす所以ともなれり。されば人民その真誠の慈に感じ、暴虐禍害自ら無形と消え去りぬ。五年このかた、百姓は安楽を歌い、地方は吉祥の兆しを見せたり。若し皆手を取り衣を拉ぎ、潁川の百姓に倣つて寇恂を挽けば、大官も競つて朝廷に上書し、好官を留め得んものを、知らずや、されば蓄積厚く功德益盛、大なるものを、土壤肥沃にして草木益茂密なるものを、西郷公一旦辞官の意決りて、帰郷せんを知るや、百姓瞬時にして哺を失い、孤單の悲感去り難し。昔年の植樹廣蔭を成す如く、公の風範は永くこの地に留まりて頌われん。後日石に刻みてか、の美事を記さんは等しく、百姓の真心より出する公正なる論断なり。百姓内心感謝の念いや深く、挽留の意強けれど、われらもはや計なくいかんともし難し。馮異に例うれば、それ五彩の馬に騎して出するを望めども、いつの日かまた頑童は竹馬に跨りて、郭仍の再び来るを迎えんや。西郷公を偲ぶに、絲を買つて像を繡する勿れ、また萬家に香を上げて供奉するも、良しとせず。最も好しき晋人が羊祐を念じて彫りし『愴淚碑』の如く、西郷公の榮光を千載に傳うべく、此處に碑を立て、永く公の徳政を讃えるものなり。

明治三十八年

月

日吉

ぎらんちようかしんとうししようしよどうりつ

宜蘭廳下紳董商庶全立

社団法人亜東親善協会顧問

(五十音順・敬称略)

若林 正俊	山本 順三	山内 俊夫	村田 吉隆	水野 賢一	古屋 圭司	平沢 勝栄	萩生田 光一	長勢 甚遠	鶴保 庸介	棚橋 泰文	世耕 弘成	佐藤 剛男	小島 敏男	岸 信夫	金子 恭之	奥野 信亮	遠藤 利明	魚住裕一郎	石破 茂	麻生 太郎	安倍 晋三
鷺尾英一郎	吉川 貴盛	山崎 正昭	森 喜朗	宮路 和明	前原 誠司	平田 健二	鳩山 邦夫	中村喜四郎	中井 洽	田名部匡省	高市 早苗	山東 昭子	坂本 剛二	北村 茂男	亀井 久興	奥村 展三	大江 康弘	臼井日出男	泉 信也	新井 悦二	愛知 和男
渡辺 博道	吉田六左エ門	山根 隆治	矢野 哲朗	三ツ林隆志	松下 新平	平沼 赳夫	浜四津敏子	並木 正芳	中川 秀直	谷川 秀善	高木美智代	島尻安伊子	笹川 堯	木村 仁	亀岡 偉民	嘉数 知賢	大野 松茂	内山 晃	岩城 光英	井上 信治	赤池 誠章
渡部 篤	吉村剛太郎	山本 明彦	谷津 義男	村上誠一郎	松本 洋平	船田 元	林 幹雄	西村 真悟	長島 昭久	谷川 弥一	高島 修一	下地 幹郎	佐藤 昭郎	小池百合子	神取 忍	金子善次郎	大野 功統	江崎洋一郎	岩屋 毅	伊藤 公介	秋元 司

社団法人亜東親善協会顧問 (順不同・敬称略)

馮 寄 台	中田 宏	畠中 篤	齋藤 毅	劉 東 光
林 錦 清	小田村四郎	黄 清 華	林 瑞 祥	長尾 孝則
楊 作 洲	李 海 天	李 瑞 昇	鄭 尊 仁	李 純 京
羅王 明珠	謝 文 政			

社団法人亜東親善協会役員名簿

[会 長]	玉澤徳一郎				
[副 会 長]	池田偵一郎	張 建 國	張 碧 華	橘 康太郎 大江 康弘	
[専務理事]	崎谷 秀彦				
[事務局長]	南部 晴彦				
[総務担当]	仲谷 俊郎	[組織担当]	益山 茂	[財務担当]	赤松 則宏
[広報担当]	吉村 俊夫	[事業担当]	小松 省二	[国会担当]	橋本 靖男
[理 事]	千葉 健司	東 達夫	新井 秀子	李ハロルド	松永理恵子
	多 忠和	藤山 雅康	三浦 信行	李陳 秀鳳	高野 正忠
[監 事]	荘司 隆一				
[支 部 長]					

[青森県]大見光男 [岩手県]高橋義麿 [茨城県]石川多門 [広島県]月村俊雄

【お知らせ】

○平成二二年亜東親善協会通常総会（三階・マーブルの間）

第三十九回通常総会 五月一日（木曜日）午後四時～午後四時四五分

ホテル・ルポール麹町 千代田区平河町二丁目三番地 電話三二六五―五三六―

○講演会（三階・マーブルの間）

講師 政治評論家 浅川博忠先生（東北福祉大学客員教授）

五月一日（木曜日）午後五時～午後五時四五分

○懇親会（三階・エメラルドの間）

講演会終了後、懇親会を開催致します
五月二三日（木曜日）午後六時～午後七時三〇分（会費一万円）

○社会見学会は本年開港した「茨城空港」「日本原子力研究開発機構」等をバス利用での日帰りツアーです。（五月乃至六月予定）

○本年は、辛亥革命百周年。来年は、中華民国建国百周年にあたるため、

日本国内、台湾で、色々なイベントが開催されます。詳細は事務局へ。

○本年の國慶双十節には、協会も奉祝訪台団を企画しています。

日本羽田―台湾松山間、初フライト搭乗も企画する予定です。

【編集後記】季刊「亜東」春季号

○新春互礼会は講演会に替え、新春に相応しい演芸会を催しました。

参加者の笑いが絶えず、好評でありました。

○六十周年記念訪台団（JAL・日華青少年交流協会）日本大学生訪華

研修。両団は、同時期に催行されました。報告書掲載致しました。

○会員各位の御寄稿等、多数のご投稿お待ちしております。

○協会の活性化の為、会員の拡充を図っています。通常総会・社会見学会等会員各位のご紹介により、多くのご参加を期待致しております。

【年会費】①法人五万円以上。②賛助会員三万円。③個人一万円。

表題【亜東】は中華民國總統馬英九閣下の御揮毫です

季刊 **亜東**（アジアの架け橋）平成22年 春季号（No.33）

発行日 : 平成22年4月15日

発行所 : 社団法人亜東親善協会

発行人 : 玉澤徳一郎

所在地 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 砂防会館4階

Tel:03-3261-6405 Fax:03-3556-5770

H P : <http://homepage3.nifty.com/atousinzen>

印刷 : ヨシダ印刷株式会社

やすらぎの空、快適な翼。

